

今回は、染色職人の中嶋健さん（日野）にお話を伺いました。

にするなどの染め方があります。
中嶋さんは、伝統的なテクニッ



自宅内の工房



作品(関西国際空港のラウンジ入り口)

染色職人
中嶋 健さん

染色職人になつたきっかけ

中嶋さんは、大学卒業後にアメリカへ留学され、海外の文化やデザインを学んだことが日本文化を見直すきっかけになつたそうです。デザインの仕事をしながら、さまざまな伝統工芸の体験に行き、「これまでの経験が活かせて自分に合つている」と思ったのが

「引き染め」という技法でした。転職し、京都府の工房での仕事と独学で6年間ほど経験を積まれ、平成30年10月に独立されました。令和7年に京都市から日野町に工房を移して家族で移住され、現在は作品作りのほとんどをこちらで行われています。

「引き染め」とは

日本の伝統的な染め技法のひとつで、刷毛を使って直接生地に色をのせていくのが特徴です。手作業ならではの温かみのある風合いが魅力で、刷毛を使って広く均一にする、ぼかしてグラデーション

カバーなどのファブリック、オーダーメイドの店舗用暖簾などを手掛けられています。日本文化の継承と新たな時代への変化をコンセプトに、テキスタイルデザイン・製作を行なわれています。

日野町への思い

中嶋さんは東近江市出身で、日野町在住の友人がいたため学生時代からよく町には来られていました。現在のご自宅との出会いも、友人からの紹介だったそうです。

中嶋さんは、「日野町は自然豊かで、染めをやる上でとても重要な、きれいな水があります。それだけでなく、お祭りや町なみを含めた歴史・文化があること、また、すてきな住人たちに出会えたことで移住を決めました。今後もこのすばらしい環境の中で、自分らしい作品作りをしていきたいです」と話されました。

おめでとうございます

森 じゅうこさん (日野)

11月27日（木）にお誕生日を迎えられ、町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。

森さんは戦時中、旧満州（現在の中国東北部）に渡り、滋賀県満州報國農場の勤労奉仕隊員として、無給で農作業をされていました。また、家族を戦争で亡くされるという悲しい経験もされるなど、大変なご苦労をなさつたそうです。

長寿の秘訣を伺うと、「戦時にたくさん苦労したから」「今は子どもも孫もみんな元気でありがたい」と話され、「みんな元気で私には過ぎた子らや」とお子さんに 대해서の感謝を述べられていました。

当日はひ孫さんを含めご家族勢ぞろいで、笑顔の絶えないにぎやかなお祝いとなりました。



◆問い合わせ先

長寿福祉課 高齢者福祉介護担当
☎ 0748-52-6501



町ホームページ内でも
町の話題を紹介してい
ますのでぜひご覧く
ださい。



まちのわたり



※現在、綿向山登山道は間伐および道路工事実施のため閉鎖されています。

元気な歌声で
感謝を届けたよ♪



伝統を振り返り
未来への一步を



「綿向山の日」 制定30回記念事業

11月10日（月）、「綿向山の日」30回目を記念して、綿向山の頂上で記念植樹が行われました。当団は、「綿向山生産森林組合」や「綿向山を愛する会」の関係者、計24名が参加しました。植樹は、午前11時10分に実施され、ブナ・アカマツ・シロモジが植えられました。綿向山にはこれまで、鹿による食害の防止などを目的とした環境保護活動の一環とした植樹が実施されており、今後もこうした取り組みが継続される予定です。

また、8日（土）～16日（日）にわたるホーリークリスマスで開催された「田野町文化祭」では、「綿向山の日制定30回記念展示～綿向山とくらす～」が行われました。この展示では写真や資料を通じて綿向山の歴史・魅力が紹介され、多くの方が来場し観覧されました。

社会科見学で学んだことを 歌にして披露♪

11月12日（水）、西大路小学校で、3年生の児童がフレンドマート田野店での歌を披露しました。

この歌は、3年生の児童が社会科見学で訪れたフレンドマート田野店での学びや感じたことを作詞・作曲した歌です。これまでお礼の手紙で伝えていた「感謝の気持ち」を歌にして届けたいと考え、4つのテーマに分かれて作詞されました。メロディは、児童が口ずさんだ鼻歌から作曲されました。

発表を受けた大島店長は、「社会科見学で学んだことや、素直な気持ちを歌にして伝えてくれてうれしかったです」と話し、児童たちに感謝状を贈られました。

この歌は、1月下旬（年末年始を除く）までフレンドマート田野店で流れています。子どもたちの元気な歌声が、来店された多くの方々の心を温めています。

日野高等学校創立 120周年記念式典

11月22日（土）、わたむきホール虹にて「日野高等學校創立120周年記念式典」が行われました。

式典の第一部では、国歌・校歌齊唱、物故者の追悼などが行われました。日野高等学校の歴史は、明治38年創立の「日野町裁縫学校」に端を発し、二度の改称を経て、戦後の教育改革により、昭和23年に「滋賀県立日野高等学校」としての歩みを始めました。平成16年には総合学科へと再編され、伝統を受け継ぎつつ発展を続けています。

第2部では、在校生によるダンスパフォーマンスや同校卒業生でアーティストのDoraagon76さんによる記念講演「未来への旅たち」が行われました。式典に合わせて制作された記念作品には、未来へ向かって旅立つ若者の姿などが描き込まれています。120年の歴史を振り返ることともに、新たな未来に向けた一步を感じられる式典となりました。